

令和3年

壱岐市議会定例会9月会議

行政報告

壱岐市

目 次

1. はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
（1）デジタル活用支援推進事業の実施について	3
（2）壱岐市洋上風力発電等導入検討協議会について	4
（3）壱岐市補助金等検討委員会の提言について	5
（4）企業版ふるさと納税について	5
2. 交流人口の拡大	
（1）観光振興について	6
（2）日本遺産の継続認定について	7
（3）しまとく通貨について	7
3. 産業の振興	
（1）農業の振興について	8
（2）水産業の振興について	9
（3）緊急経済対策事業について	10
4. 市民	
（1）放課後児童クラブ等育成支援事業について	12
（2）災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定締結について	12
5. 教育	
（1）次代を担う壱岐っ子の全国大会等での活躍について	13
（2）令和4年度いきっこ留学生の募集について	15
6. 防災、消防・救急	
（1）防災対策について	16
（2）消防・救急について	16
7. 議案説明	
（1）補正予算について	17
（2）その他の議案について	17
8. おわりに ・・・・・・・・・・・・・・・・	18

行政報告

令和3年壱岐市議会定例会9月会議

1. はじめに

本日ここに、令和3年壱岐市議会定例会9月会議にあたり、6月会議以降、本日までの市政の重要事項、及び今回補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

始めに、去る9月5日に閉幕した東京^{にーぜろ にーぜろ}2020パラリンピック競技大会の女子マラソンが同日行われ、平成28年から平成30年まで3年連続で、本市において合宿を行っていただいた、^{みちした みさと}道下美里選手が、3時間0分50秒の記録で初の金メダルを獲得されました。

この快挙は、道下選手のたゆまぬ努力と才能、そして道下選手をサポートされた「チーム道下」皆様が一丸となって獲得されたものであり、日本国民はもとより、世界中の人々に勇気と感動を与えたものと確信しております。

この度の栄誉について、心からお慶び申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念するものであります。

さて、新型コロナウイルス感染症について、長崎県においては、8月19日、県全体の感染段階を「ステージ5」に引き上げ、県独自の「緊急事態宣言」が発令されたところであり、また、国において、8月27日から9月12日までの間、「まん延防止等重点措置」の対象に追加され、重点措置の対象区域に長崎市と佐世保市が指定されております。

これまでにない規模及び速度で感染が拡大していることを十分理解し、一人ひとりが強い危機感を持って行動するよう呼びかけられています。

本市では、8月4日に市内93例目となる感染者が確認され、以降昨日まで、新たに9名、合計102名の感染者が確認されたところです。

市民皆様には、引き続き、不要不急の県外との往来自粛等並びに家庭内でも、できる限りの感染防止対策をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策の大きな要として実施しているワクチン接種については、大きなインシデント（重大な出来事・事故）もなく、ほぼ順調に進んでおります。壱岐医師会をはじめ関係皆様のご支援・ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

現時点では、65歳以上の市民皆様の8割及び12歳以上の全接種対象者の5割を超える方が2回目を接種済みであり、接種券については、19歳以上の全対象者の皆様へお届けが完了している状況であります。

SNS等の誤った情報から、接種を躊躇している方もおられるようですが、接種機会のない小さな子どもたちを感染症から守る、子どもからの感染を防ぐという意味合いからも、若い親世代など大人の接種を多方面から推進しているところであり、ぜひ正しい情報をもとに判断していただきたいと考えております。

なお、12歳から18歳までの接種券についても、明日9月8日発送予定にしておりますが、保護者の皆様や子どもたちが、不安なく

十分な理解のもと接種が出来るよう長崎県医師会が作成された子どもたちにもわかりやすいパンフレットを同封しております。

また、ワクチン接種は進んでおりますが、感染力の強い「デルタ株」が猛威を振るっており、ワクチンを2回接種していても感染する事例もありますので、接種が完了した後も、これまでどおり、密を避け、マスクの着用など基本的な感染防止対策にご理解をお願いいたします。

(1) デジタル活用支援推進事業の実施について

国は、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、デジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」を掲げており、これにより「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」を進めております。

総務省では高齢者が身近な場所でデジタル活用について学べる講習会等を推進するため「デジタル活用支援推進事業」を開始いたしました。

このたび、これまで市主催の情報発信塾等で協力を頂いた、長崎県企画部次世代情報化推進室 情報戦略アドバイザー並びに学校法人長崎総合科学大学 名誉教授 よこやま まさと 横山 正人 様が代表を務められる株式会社九州地域情報化研究所が、総務省の補助実施団体として採択され、壱岐市を連携団体として「市民向け情報活用教室」を実施することが決定いたしました。

事業の内容でございますが、スマートフォン初心者の方を中心に、島内の公共施設等を利用し、本年9月から来年3月まで、講習会

24回、相談会8回を計画し、400名以上の方の受講を見込んでおります。

今後、講習会の日程等について、市民皆様へお知らせいたしますので、ご参加をお願いいたします。

(2) 彦根市洋上風力発電等導入検討協議会について

8月11日から降り始めた断続的な大雨により、県内においては、甚大な被害が発生しております。一方、国外では熱波による山火事で自然環境は壊滅的な被害を受け、様々な生命が危機に晒されている地域もあります。

こうした中、本年8月に、世界各国の科学者でつくる国連のIPCC(気候変動に関する政府間パネル)から新たな報告書が公表され、異常気象は地球温暖化によるものであり、その原因は人間の活動によるものであると断定されております。

この危機を回避するための有効な施策として、国においては、再生可能エネルギーの導入拡大が強力に推進されている中、本市は、再生可能エネルギー主力電源化の切り札ともいえる洋上風力発電の導入可能性の検討に取り組んでいるところであります。

昨年度までは、長崎県主体の洋上風力発電に係るゾーニング実証事業において、県と連携して取り組んでまいりましたが、今年度は環境省所管の補助事業の採択を受け、市が主体となって導入可能性の検討に取り組んでおり、去る8月24日、漁業関係団体をはじめとする先行利用者並びに地域住民及び関係団体の代表者皆様との検討協議会を開催したところであります。

洋上風力発電の導入にあたっては、これまで同様、漁業者や地域との共存共栄並びに地域の活性化にとって有益であることを大前提として、今後も関係皆様との合意形成に取り組んでまいります。

(3) 壱岐市補助金等検討委員会の提言について

本年4月30日に地域の代表者等で構成する壱岐市補助金等検討委員会へ提言依頼を行い、あらゆる角度から慎重審議を賜り、先般8月18日に提言をいただきました。提言書には、今後の補助金等のあり方についてのご意見並びに対象170件の各種団体等への補助金等の個別審査結果が示され、継続77件、縮減75件、廃止18件という結果でありました。

ご提言いただきました内容を十分尊重し、見直し等検討を行い、補助金等の適正化に努めてまいります。

(4) 企業版ふるさと納税について

企業版ふるさと納税制度は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に税制上の優遇措置が受けられる制度で、本市においては、第3次壱岐市総合計画に掲げた各種事業が寄附の対象となります。

このたび、本市の企業版ふるさと納税第1号として、芦辺町出身の万谷^{まんだに}正^{ただし}様が代表取締役を務めておられる株式会社ファウンテック様から、1,000万円のご寄附をいただきました。

万谷様は、東京壱岐雪州会の前会長として、また現在も名誉会長として壱岐市発展のためにご尽力賜っているところであり、故郷壱岐に思いを深く寄せられ、昨年9月に発生した台風9号、10号により本市

が被災した際も、災害寄附として100万円のふるさと納税をいただくなど、これまで多くのご支援、ご協力を賜っております。

今回のご寄附も壱岐市のためにという強い思いの中で賜ったご厚意であり、壱岐市民を代表し、心から御礼と感謝を申し上げる次第であります。ご寄附については、本市の事業に有効に活用してまいります。

2. 交流人口の拡大

(1) 観光振興について

新型コロナウイルス感染症の発生以降、これまで4度の緊急事態宣言が発出され、うち令和2年は1度のみの49日間でありましたが、本年は3度に渡り、200日間を超えております。

こうした影響等により、本市における観光客数を推計する上で参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年1月から7月末までの乗降客数累計は、182,819人、対前年比86.3パーセントとなっております。

また、本市の観光業にとって7月、8月は1年で最も活気あふれるハイシーズンであり、7月の4連休は観光客が戻り、8月の需要も大いに期待しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に加え、3連休後半の台風9号の接近、さらには8月11日からの長雨等の影響により、依然として厳しい状況にあります。

国のGOTOトラベルキャンペーンの一旦停止に続き、長崎県民限定観光キャンペーン及び本事業を活用した、対馬市との相互交流

キャンペーン等も一旦停止を余儀なくされておりますが、壱岐市観光連盟と連携を図りながら、今後の再開に向けて準備を進めておりますので、観光関連事業者への支援について、市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今後、感染症の収束状況に応じ、改めて県内や近県からの誘客の強化を図り、観光需要の早期回復を目指してまいります。

(2) 日本遺産の継続認定について

本市は、平成27年に「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋」として日本遺産第一号の認定を受けていますが、この日本遺産は、保全を目的とする世界遺産とは異なり、地域の有形・無形の文化財をストーリーとしてまとめ、観光振興につなげることを目的として文化庁が認定するもので、これまで104件が認定されております。

しかしながら、認定後の取組に温度差があることから、取組が不十分な地域の認定取消しのほか、追加認定について審査する制度が導入され、去る5月19日に実施された、導入後初めての審査の結果、本市の日本遺産は、これまでの誘客や取組の成果及び今後の取組計画が高く評価され、モデル地域として「重点支援地域」に選定されました。

今後、重点支援地域として、国境の島が紡いだ2300年の歴史・文化の保存はもとより、県及び関係市町と連携してストーリーとしての魅力発信強化を図ることで、国内外からの交流人口拡大による地域活性化を目指した取組を進めてまいります。

(3) しまとく通貨について

県内離島の加盟市町（壱岐市・五島市・小値賀町・新上五島町・

佐世保市宇久町)において、共通に使用できる電子通貨のプレミアム付商品券である「しまとく通貨」について、その運営を行っている「しま共通地域通貨発行委員会」の臨時総会が、去る9月1日に開催され、構成市町においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい行財政運営が強いられ、既存事業の見直し等早急な対応が必要となる中で、共同実施する「しまとく通貨発行事業」については、今後、継続することが非常に厳しい状況であるとの判断から、令和3年度で終了することが決定いたしました。

3. 産業の振興

(1) 農業の振興について

今年の葉たばこの作柄については、移植後、晴天が続き、生育は順調に推移し、一部に小柄作が見られたもののしっかりとした肉厚の葉となり、昨年より収量も増加の見込みとなっており、10月7日から13日まで、熊本県合志市で販売が予定されております。

一方、早期水稻は、8月の長雨により収穫時期が遅れ、昨年大量発生したウンカ、コブノメイガ等の病虫害被害は少なかったものの品質の低下が懸念されております。

肉用牛については、新型コロナウイルスの影響により、依然として枝肉価格の不安定な状況が続いており、肥育農家の経営を圧迫している状況にあります。

このような中、8月に開催された子牛市では、6月の平均価格と比較し、1頭当たりマイナス6.1%、4万6千円減の71万2千円

となり、本年4月には一時的に持ち直したものの、前回の6月に引き続き下落となりました。

また、本年度予定されていた壱岐市和牛共進会は、昨年引き続き中止となりました。

昨年6月に「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」が施行され、地域人口の急減に直面している地域において、農林水産業、商工業等の地域産業の担い手を確保するための特定地域づくり事業を行う事業協同組合に対して財政的、制度的な支援が行われることとなりました。

本制度を活用し、本年8月10日、壱岐市農業協同組合を中心とした「壱岐市農業支援事業協同組合」が設立されたところであります。

農業の担い手対策及び慢性的な人手不足の解消を図るため、本組合から、季節ごとの労働需要等に応じて複数の事業者へ派遣する「マルチワーカー」が、希望する農家や農業法人に派遣されることとなっております。このことにより、安定した給与を確保しながら農業に関する技術を習得し、壱岐農業全体の持続的な展開が図られるとともに、地域の活性化も期待されております。

(2) 水産業の振興について

本年4月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較いたしますと、漁獲量は985トンの18.8%増、漁獲高は8億8百万円の25.9%増と漁獲量、漁獲高ともに増加しております。これは、4月から6月までのケンサキイカ漁が好調であったことが

要因であります。他の魚類については、漁獲量も減少し、魚価についても新型コロナウイルス感染症の影響を受けて低迷が続いております。

また、市内5漁協の正組合員数は、令和2年度末で昨年から32人減の803人となっており、漁家及び漁協の経営は大変厳しい状況が続いております。

今後も引き続き、漁業者の皆様そして各漁協をはじめ関係機関と連携を図りながら、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

なお、持続可能な新水産業創造事業による箱崎漁業協同組合の冷凍庫改築に係る補助金について、今回、所要の予算を計上しております。

(3) 緊急経済対策事業について

緊急経済対策事業として本年2月に販売した壱岐市地産地消応援プレミアム付き商品券発行事業であります。2日間で1億4千万円分の商品券が完売し、6月末に使用期限を迎え、7月末までに換金手続きを終了いたしました。

実績を分析した結果、商品券が使用された店舗の分類は、大型小売店が60.1%、その他の小売店が15.7%、飲食店が14.9%、その他が9.3%でありました。

また、店舗の種別については、島内資本の事業所が83.6%、島外資本の事業所が16.4%でありました。島内資本の事業所が8割以上を占めた結果については、本商品券の用途を飲食店の利用又は壱岐産品を一品以上購入される際の会計に限定したことが要因であ

ったと考えており、本年2月から4か月余りの間に貯蓄に回らない1億4千万円という資金が本市の市場に流れ、本市産品等の購入に充てられたということはコロナ禍で逼迫する本市経済の活性化に寄与できたものと分析しております。

一方で、商品券の販売手法等において反省点があったため、6月会議で議決いただきました第4回壱岐市プレミアム商品券発行事業においては、その反省点を活かす形で対応を図ってまいります。

また、第4回壱岐市プレミアム商品券発行事業と並行してキャッシュレスキャンペーンを実施する旨を報告しておりましたが、前回キャンペーンを行った決済会社である株式会社Pay Payが、今秋、独自で大型キャンペーンを行うことを発表し、さらに10月以降年末にかけても様々なキャンペーンを行うことが予測され、同時期に市の予算を講じて二重にキャンペーンを実施することは非効率であるため、壱岐市独自のキャッシュレスキャンペーンの実施は見送ることといたしました。

このキャッシュレスキャンペーンの事業見送りに係る予算については、第4回壱岐市プレミアム商品券発行事業の事業費に上乗せして実施することとし、当初、5万セット・発行総額3億円としていた商品券を、5万7千セット・発行総額3億4千2百万円へ増額いたします。

実施にあたっては、前回の反省点等を踏まえ、市民皆様全てに公平となるよう、一人2セットまでに限定した商品券購入に必要な引換券を送付いたします。売れ残った場合は残りのセット数に応じて一般販売を実施する予定であります。詳細については回覧等でお知らせいたします

ので、ぜひご購入いただき、本市経済の活性化にご協力をお願いいたします。

4. 市民

(1) 放課後児童クラブ等育成支援事業について

本事業は、仕事などで保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、放課後や学校の休業日に、遊びや生活の場を提供して適切な指導を行い、健全な育成を図ることを目的として、現在、市内6事業所に業務委託をしております。

その中で勝本町内の小学生が利用する事業所「あそぼうね」が令和3年度をもって閉所されるため、利用者皆様の新たな受入れ先として、令和4年度から壱岐市社会福祉協議会に運営を委託し、「勝本すまいるクラブ」を開設したいと考えております。勝本町ふれあいセンターかざはや内にある保健研修室を改修して放課後児童クラブ専用の施設とすることとしており、新規開設に伴う改修工事の費用について、今回、所要の予算を計上しております。

(2) 災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定締結について

8月11日から降り始めた断続的な大雨が、西日本から北日本の広い範囲で降り続き、各地で甚大な被害をもたらしております。

そのような中、去る8月25日に、県内の一般廃棄物処理関連事業者からなる2団体と「災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結いたしました。

その内容は、地震や台風など大規模災害で発生したし尿、生活ごみ、倒壊した建物等の災害廃棄物を本市と連携して、迅速かつ円滑・適正に撤去・収集・運搬処理することを目的としており、特に離島という地理的な制約がある中で、早期の復旧・復興に向けご協力いただくというものであります。

協定の相手方は、36社が加入する県環境保全協会並びに41社が加入する県環境整備事業協同組合であり、現在、同協定を締結している、大村市、諫早市、長崎市、松浦市に続き、本市は県内5番目となり、離島では初めてとなります。

今後、県及び両組合団体事業者等との協力支援体制の構築を図り、災害の発生に備え、万全を期してまいります。

5. 教育

(1) 次代を担う壱岐っ子の全国大会等での活躍について

6月5日から8日にかけて2年ぶりに開催された長崎県高等学校総合体育大会陸上競技に出場した壱岐高等学校3年 ^{うらがわ ひなこ}浦川 日菜子さんが、女子5000メートル競歩の部において26分40秒04で第2位、同じく3年 ^{たかじょう ひより}高城 日和さんが27分05秒85で第4位、女子800メートルの部において2年 ^{どひ}土肥 さくらさんが2分16秒02で第3位、女子走幅跳の部において2年 ^{ながおか ゆきな}長岡 幸奈さんが5メートル23で第5位の成績を収めました。

只今申し上げた4名の選手は、長崎県代表として6月17日から20日にかけて大分県の「昭和電工ドーム大分」で開催された第74回

北九州高校総体陸上競技大会に出場し、浦川 日菜子 さんが女子5000メートル競歩の部において、長崎県大会の記録を大幅に更新し、25分04秒69で第6位という素晴らしい成績を収めました。

また、7月25日・26日に開催された長崎県中学校総合体育大会陸上競技に出場した郷ノ浦中学校1年、^{ふくはら ゆうご}福原 悠吾 さんが1年男子100メートルの部において12秒15で優勝、同じく郷ノ浦中学校1年の^{かせだ りくう}加勢田 莉空 さん、^{もりでら れん}福原 悠吾 さん、^{もりでら れん}森寺 蓮 さん、^{なかやま けい や}中山 慶哉 さんの4名でバトンをつないだ4×100メートルの部において49秒93で優勝という素晴らしい成績を収めました。

福原 悠吾 さんは、長崎県代表として8月4日から6日にかけて福岡県「博多の森陸上競技場」で開催された第43回九州中学校陸上競技大会に出場し、1年男子100メートルの部において12秒04で第5位という好成績を収めました。

その他の分野では、壱岐商業高等学校 壱州荒海太鼓部が、令和2年度長崎県高等学校総合文化祭第18回郷土芸能発表大会において金賞を受賞し、8月3日から5日にかけて和歌山ビッグホールで、2年ぶりに開催された「文化部のインターハイ」と呼ばれる第45回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に出場しました。惜しくも入賞はなりませんでした。同じテーマに取り組んできた全国各地の仲間と交流を深める機会にもなり、貴重な経験になったことと思います。

また、8月3日に行われた“社会を明るくする運動”中学・高校生長崎県弁論大会に出場した石田中学校3年の^{まつお もも か}松尾 桃花 さんが最優秀賞の知事賞を受賞されました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、学校生活が大きく制約を受け
る中、学びと部活動等を両立させ、日頃の努力の成果を存分に発揮
された結果であり、子どもたちの活躍を大変うれしく思いますとと
もに、児童・生徒皆さんの今後、益々の活躍を期待しております。

(2) 令和4年度いきっこ留学生の募集について

平成30年9月から開始した「いきっこ留学制度」は今年度4年目
を迎えました。現在、里親留学12名（小学生5名・中学生7名）、
孫戻し留学7名（小学生3名・中学生4名）、親子留学11名（小学
生9名・中学生2名）の計30名を「いきっこ留学生」として受入
れております。令和4年度のいきっこ留学生の募集についても、本年
8月2日から開始し10月15日までの期間で行っております。

いきっこ留学については、制度開始以降、年々留学生が増加して
おり、今年度も多くの問い合わせをいただき、事前見学等に対応し
ているところでありますが、このまま上限を設けず留学希望者を全
て受入れていきますと、里親の確保や財源の確保等の課題が想定さ
れます。そのため、令和4年度からの募集においては、留学種別ご
との定員を里親留学は20名、孫戻し留学・親子留学はそれぞれ10名
の合計40名とすることや、補助金交付期間を留学開始から3年間
を原則とすることなど、定員及び補助期間の上限等、制度の見直し
を行ったところであります。

今後もこのいきっこ留学制度を通じた交流が、留学生はもちろん、
壱岐市の児童・生徒にとって豊かな体験に繋がる制度となるよう、検討
を重ねながら取り組んでまいります。

6. 防災、消防・救急

(1) 防災対策について

8月11日から本州付近に停滞した前線の影響で、長期にわたって記録的な大雨となり、九州など西日本を中心に大雨特別警報が発表されました。長崎県内においても、連続雨量が1,000mmを超え、土砂災害等により人的被害が発生するなど、甚大な被害が発生しております。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

本市では、この間、大雨警報6回、土砂災害警戒情報1回を受け、災害警戒本部を設置するとともに、避難所を1回開設しましたが、幸いにして、大きな被害は報告されておられません。

これから本格的な台風シーズンを迎えます。台風への対策も含め、新型コロナ禍における感染拡大防止のためのパーテーションやAI顔認識温度検知カメラ等を導入し、避難所における環境整備に努めております。

今後も関係機関と連携を図り、市民皆様の安全・安心を最優先に災害対策に万全を期してまいりますので、早めの警戒や日頃の備えなど、防災意識の向上にご理解とご協力をお願いいたします。

(2) 消防・救急について

熱中症については、今年に入り、8月末日までに16名の患者を救急搬送しております。今後、残暑が厳しくなることも予想されますので、市民皆様におかれましては、こまめな水分補給を行っていただき、室内においてもエアコンや扇風機等を有効に使用し、体調管理に

十分注意されますようお願いいたします。

7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本議会に提出した令和3年度補正予算の概要は、

一般会計補正額 3億181万2千円

各特別会計の補正総額 7,249万3千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

3億7,430万5千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

231億7,625万9千円

で、特別会計については、

85億131万円

となっております。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、令和2年度各出資法人の経営状況等に係る報告6件、令和2年度財政健全化判断比率等の報告1件、条例の一部改正に係る案件5件、計画の策定1件、予算案件6件、令和2年度各会計決算認定8件であります。

何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

8. おわりに

以上をもちまして、6月会議以降の市政の重要事項、政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年9月7日

壱岐市長 白川 博一